

第三十二回 国指定名勝楽山園投句会入選作品

季節『秋』

期間 令和五年八月一日～令和五年十月三十一日

選者 高橋洋一（群馬県俳句作家協会顧問）

一般の部

賞	作 品	住 所	氏 名
最優秀賞	楽山園の語り部めしき虫の声	藤岡市	黒澤 蓮子
優秀賞	祖父母連れ落葉踏み締め楽山園	東京都 日野市	岸辺 美和
優秀賞	虫すだく楽山園の夕べかな	高崎市	高山 昭次郎
優秀賞	水澄めり鯉の背鰭のささらなみ	甘楽町	中野 幸枝
入選	観月の万灯の火や楽山園	高崎市	松島 洋造
入選	借景の山は揃ふて粧へる	高崎市	横山 由美子
入選	芋洗ふ暮らし豊かに雄川堰	高崎市	吉村 敏枝
入選	口笛の旋律まろし秋日和	高崎市	小島 よう子
入選	秋の楽山園藩侯あそぶ日の遠し	高崎市	千木良 隆雄
入選	吾が影を追う池の鯉爽やかに	高崎市	千木良 隆雄

こどもの部

賞	作 品	住 所	氏 名
特別賞	一服だ月見団子で満腹だ	東京都 日野市	関戸 陽太
特別賞	秋風がぼくのほつぺたなでてきた	高崎市	竹原 優支
特別賞	むしのこえくさむらのなかわたしよぶ	高崎市	竹原 絵南
特別賞	いちようがねひらひらおちてこうようだ	藤岡市	松原 一真